

広島建設(株)から企業版ふるさと納税

千葉県で注文住宅や大型施設等の設計・施工・販売する広島建設(株)から企業版ふるさと納税をいただきました。企業版ふるさと納税とは、自治体の実施する地方創生や人口減少課題に対して民間企業が寄附を行い、その資金を活用して自治体の課題解決や企業と自治体のパートナーシップの構築を目指すものです。

広島建設(株)からは、「当社は日南町の御オロチ様から、構造用LVLや造作用LVLを過去10年以上にわたって供給していただいております。この度御オロチ様から、日南町を通じて森林整備事業に貢献できる取り組みをご紹介いただき、日南町へ企業版ふるさと納税による寄附をいたしました。木造建築を担う企業として、日本の森林保全



や木材産業の発展、さらにその事業を担う人財の育成においても微力ながら貢献していくことができると考えております」とメッセージをいただきました。

「フェノロジーカレンダー」が完成

にちなんエコツーリズム推進協議会の事業として、令和2年度から(一社)山里Loadにちなん(旧日南町観光協会)が作成を担ってきた、フェノロジーカレンダー「にちなんの森林に生きる私達」が6月に完成しました。フェノロジーカレンダーとは、地域の自然と人の営みを表した生活季節暦のことです。山里Loadにちなんでは、各地域をまわって「まちの宝」の聞き取りやアンケート調査を実施し、



作成に取り組んでできました。日南町の四季の魅力がぎゅっと詰まったこのカレンダーは、今後広報にちなんとあわせてみなさまへお配りしますので、ぜひご覧ください。

キラリと輝くユーモア☆商工会ポスター展

日南町商工会が企画した「★日南町のいちばん星★輝く事業者ポスター展」が、5月10日から総合文化センターで開催されました。展示されたポスターは、鳥取県星空保全条例に基づき日南町全域が星空保全地域に指定されていることにちなみ、参加した26事業所それぞれに「星」を題材にしたユニークなキャッチコピーがつけられています。この企画は、「暗いムードが漂う世の中で、クスッと笑える話題を提供したい」との思いから企画されたもので、事業者のみなさんの明るくいきいきとした表情が捉えられていました。このポスターは、参加したそれぞれの事業所にも掲示されています。



5/27

たたら製鉄の歴史を学ぶ「地元学」

日南町でかつて盛んだった「たたら製鉄」にまつわる歴史や人々の生業について学ぶ「地元学」の授業が、日南中3年生を対象に行われました。印賀の吉鉦地区や印賀鋼とゆかりのある旧家・青戸家住宅を見学したり、まなび宿おおみや(旧大宮小学校)を訪れて4つのグループに分かれて地元の方々から話を聞いたりしていました。実際に山で砂鉄を採る体験をしたグループもあり、歴史に直に触れて学べる貴重な学習となりました。



今年も「銀河」が生山駅に!

西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)が令和2年から運行している特別急行列車「WEST EXPRESS 銀河」が、今年も5月から9月までの間、山陰方面(京都一出雲市間)を運行します。毎週月曜日・金曜日に京都を出発する出雲市行きの下り列車が生山



駅に停車し、「生山駅・上石見駅100周年記念ポストカード」のプレゼントや特産品の販売、伝統芸能の披露などのおもてなしが行われます。

5/18

思いやりの心を育てよう「人権の花運動」

花を育てることを通じて命の尊さを実感してもらい、その中で優しさや思いやりの心を育ててもらおうと実施されている「人権の花運動」が日南小学校で行われました。はじめに日南町人権擁護委員の後藤厚見さん(上石見)、安達俊夫さん(宮内)、白根早苗さん(茶屋)、恵比奈礼子さん(多里)、米子人権擁護委員協議会の小林恵充会長が6年生の教室を訪れ、後藤さんからマリーゴールドの苗を児童の代表に手渡しました。その後児童は、人権擁護委員のみなさんに手伝ってもらいながら、3色130本のマリーゴールドの苗をみんな協力してプランターに植えていました。



5/16

ゆきんこ村グラウンドにロボット芝刈機導入

昨年度、全面に芝生を植えたゆきんこ村のグラウンドに、この度ロボット芝刈機が試験導入され、そのお披露目会が開催されました。このロボット芝刈機は、芝生化を推進し、芝刈機の貸出し事業を行っている「鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク」から借り受けたもので、同グラウンドの芝管理にかかる労力の削減を目指して導入されました。お披露目会には、鳥取方式の芝生化全国サポートネットワークの水野由久会長や中村町長らが参加し、ロボット芝刈機のデモンストレーションなどが行われました。この芝刈機は、1日で5,000平方メートルの芝を自動で刈り取ることが可能です。



5/19

農業委員会 新体制でスタート

任期満了に伴う農業委員の改選が行われ、改選後初の農業委員会総会が招集されました。総会では、中村町長から任命された10人の委員の中から、会長に梅林操さん(霞)、会長職務代理者に福田英夫さん(福塚)がそれぞれ選任されました。また、農業委員とともに担い手への農地集積や遊休農地の発生防止・解消などの活動を行う農地利用最適化推進委員には、9人の委員があわせて任命されました。任期はいずれも令和4年5月19日から令和7年5月18日までの3年間です。



《農業委員》

うめばやし 梅林 操 (霞)	しまかわ 嶋川 克寿 (中石見)
ふくだ 福田 英夫 (福塚)	かとう 加藤 幸児 (折渡)
あだち 足立 福子 (阿毘縁)	しあみ 塩見真由美 (上石見)
あまさき 天崎 直幸 (生山)	あだち 足立 進也 (阿毘縁)
きやま 木山 篤志 (茶屋)	いとたがわ 糸田川 啓 (萩原)

《農地利用最適化推進委員》

にった 新田 和之 (上萩山)	つほくら 坪倉 幹也 (茶屋)
きし 岸 幸利 (下阿毘縁)	せのお 妹尾 重寿 (佐木谷)
やまもと 山本 昌樹 (神福)	まるやま 丸山 栄人 (三吉)
くらみつ 倉光 伸也 (宮内)	なんば 難波 豊治 (神戸上)
ふじはら 藤原 恵司 (印賀)	

(敬称略)